

事業番号	05 10 02	事業改善シート（令和7年度実施事業分）				☐ 当初要求 ☐ 当初予算案 ☐ 補正予算案 ☒ 点検			
事業名	社会参加推進事業	部局	健康福祉部	課・室	障がい者支援課				
		実施期間	S23 ～	E-mail	shogai-shien @ pref.nagano.lg.jp				

1 現状と課題

- ・障がい者の経済的自立を図るため、障がい者の一般就労への支援及び福祉就労における就労機会の創出・拡大が必要
- ・芸術文化活動に取り組む障がい者を支援するため、事業所等への情報提供や、相談支援体制の整備、発表機会の拡充が必要

2 事業目的

就労によりやりがいや充実感を得たり、芸術文化活動など様々な機会を通し、生きがいや楽しみを持つなど、障がいのある人が社会のあらゆる活動に主体的に参加し、その人らしく、充実した人生を送ることができる社会を実現する

3 事業目的を達成するための取組

- ①障がい者の地域生活及び就労のための支援
- ・障がい者が地域で生活するために必要なコミュニケーション支援や移動支援等の実施のための体制整備
 - ・障がい者の工賃向上のため、障がい者就労施設の受注拡大のための支援を実施
 - ・担い手不足の農業分野における障がい者の就労拡大のため、農福連携促進コーディネーター等を配置し障がい者就労施設と農家のマッチング等を支援
 - ・農福連携の認知度向上のため、農福連携の現場見学会を開催。さらに一層の普及拡大を図るため、マルシェ及びシンポジウム等を実施
- ②障がい者の芸術文化活動の振興
- ・障がい者芸術文化活動支援センター（ザワメキサポートセンター）において事業所等に対する相談支援等を実施
 - ・各種作品展の開催を通して、表現活動の発表機会を確保

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移		
①	就労継続支援 B 型事業所の平均工賃月額	円	23,301	24,522	↗	26,773	↗	25,000	達成 最低賃金の伸び率と全国の工賃の伸び率を勘案して目標値を設定
②	ザワメキアート展の入場者数及びWeb閲覧者数	人	5,293	8,069	↗	7,565	↘	5,300	達成 R5年度並みの数値を目標値として設定

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値
4-3①	働き方改革の推進と就労支援の強化										
3-2①	文化芸術の振興と文化芸術の力の様々な分野への活用	文化芸術活動に参加した人の割合	%	2022 (R4)	80.5	2023 (R5)	44.8	2024 (R6)	49.3	2027 (R9)	80

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計			
				(予算現額)	うち一般財源		
R7年度	0	914,658	15,972	930,630	831,850	860,657	2.8
R6年度	14,750	822,484	△ 2,135	835,099	741,315	787,062	2.8
R5年度	0	977,029	5,173	982,202	753,809	898,899	2.8

事業番号	05 10 02	事業改善シート（令和 7 年度実施事業分）	☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	社会参加推進事業	部局	健康福祉部	課・室	障がい者支援課	

7 主な取組実績と成果

①障がい者の地域生活及び就労のための支援

・就労継続支援事業所等の工賃アップを図るため、地域連携促進コーディネーターを 4 名配置し、地域と事業者間の連携促進等の支援を行った（訪問・仲介件数：1,240回）。

・経営手法や工賃アップの成功事例等に関する工賃向上セミナーを 2 回開催し、事業所の管理者や担当者に工賃アップのノウハウ等を提供することで各事業所の取組の支援を行った（参加事業所数：109事業所）。

・工賃アップのため外部講師を招いて新たな技術の習得を図る事業所に対して講習費用の一部補助を行った（補助事業所数：2 事業所）。

・農福連携の更なる普及のため、農家や就労事業所を対象とした意見交換会、都道府県担当者を対象とした現地研修会を実施した。

・農業分野の人手不足の解消、障がい者の働く場の拡大及び工賃向上を図るため、農福連携促進コーディネーター 4 名を配置し農家と事業所とのマッチング支援（72件が成立）をするとともに、農福連携の認知度向上のため、町村関係団体等と連携し県内外でマルシェ（6 か所）を実施した。

・視覚障がい者の地域生活及び社会活動への参加を支援するため、身体障がい者補助犬の給付（2 頭：3,960千円）を行った。

・障がい者の地域生活を支える地域生活支援事業の市町村事業分について、国庫補助の予算措置が充分でない状況が続いているため、障がい者の社会参加を促進する移動支援事業について県費の上乗せ補助を行った（7,226千円）。

②障がい者の芸術文化活動の振興

・障がい者やその家族、事業所等に対し、芸術文化活動に関する相談支援を行った（相談回数：158回）。

・令和 7 年11月から令和 8 年 2 月にかけて「ザワメキアート展2025」を開催し、障がい者の表現活動の発表機会と、県民が障がい者の創作したアート作品に触れる機会を創出した（延べ来場者数：1,207人）。

・研修やワークショップを開催し、芸術文化活動に携わる人材の育成を行った（受講者数：79人）。

・障がい者の創作したアート作品のレンタルを開始し、レンタル料の一部を作者に還元した（貸出数：31作品）。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標 ①	就労継続支援 B 型事業所の平均工賃月額	R6年度推移	↗	R7年度推移	↗	達成状況	達成
地域（農福）連携促進コーディネーターのマッチング実施や事業所向けの工賃向上セミナーを開催したことで、令和 7 年度の目標平均工賃月額25,000円を超え、実績額は26,773円となった。							
指標 ②	ザワメキアート展の入場者数及びWeb閲覧者数	R6年度推移	↗	R7年度推移	↘	達成状況	達成
Web展の認知度の向上によりWeb展閲覧者数が令和 5 年度比（目標設定時の最新値）約1.5倍となったことから、目標を達成することができた。							
また、ザワメキアート展の開催前に、ザワメキアート展会場と同圏域の特別支援学校 2 校で創作支援を行うプロジェクトを実施し、その取組をザワメキアート展で紹介することでプロジェクト参加者やその関係者の集客も促すことができたと考えられる。							
一方で、秋・冬期の高原地域での開催であったことから、令和 6 年度と比べて現地会場への来場者数が 7 割程度に留まった。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記 7、8 及び県民の意見等を踏まえた課題

・障がい者の自立を支援するため、正確な実態を把握した上で、更なる工賃向上のための取組が必要である。また、農業に取り組む事業所は、利用者（障がい者）にとって身体・精神の両面で好影響があると感じていることから、農福連携の支援の強化も重要である。

・地域生活支援事業については国庫補助の予算措置が充分でなく、市町村の超過負担が生じていることが課題である。

・芸術文化活動に取り組む障がい者を支援するため、人材育成、相談支援体制や発表機会の充実が必要である。文化芸術活動の発表機会となる展示会等の開催にあたっては、より多くの県民の参加を促すために、会場、開催時期、他イベントとの連携等の工夫が必要である。

(2) 事業改善の方策

・地域（農福）連携促進コーディネーター及び農福連携技術指導員を配置し、障がい特性に合った仕事の確保や就労継続支援事業所と企業・農家とのマッチング、販路開拓を支援する。また、セミナー開催や専門家の派遣等により営業・経営に係るスキルや専門的技術の習得を支援する。

・地域生活支援事業については、国に対しては十分な予算措置を要望するとともに、令和 7 年度から県費の上乗せ補助を開始し、令和 8 年度には対象事業を追加したことから、引き続き市町村の負担軽減を図る。

・「長野県障がい者芸術文化活動支援センター（ザワメキサポートセンター）」において、引き続き特別支援学校にアーティストを派遣し、子どもたちのアート活動を支援するほか、各種研修会の開催、様々な発表機会の創出等を通じて、障がい者が芸術文化活動に参加しやすい環境を整備する。また、ザワメキアート展本展のほか、本展の展示作品の一部を展示する「プレ展示会」を県内 4 圏域で開催することで、より多くの県民が障がい者の創作したアート作品に触れる機会を創出する。

事業番号	05 10 02	細事業一覧（令和7年度実施事業分）	☐ 当初要求 ☐ 当初予算案 ☐ 補正予算案 ☒ 点検		
事業名	社会参加推進事業	部局	健康福祉部	課・室	障がい者支援課

細事業No.	細事業名	R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
1	障がい者芸術文化活動普及支援事業	9,566 千円	12,069 千円	12,566 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	長野県障がい者芸術文化活動支援センター（ザワメキサポートセンター）の運営	委託	障がい者の芸術文化活動の振興を図るため、事業所等に対する相談支援、芸術文化活動を支援する人材の育成、関係者のネットワークづくり、発表機会の創出等を実施 【委託先：（社福）長野県社会福祉事業団】 人材育成研修会の開催数：4回、展覧会の開催数：3回	

細事業No.	細事業名	R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
2	地域生活支援事業	336,534 千円	343,576 千円	365,143 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	手話通訳者の配置	直接	県庁及び保健福祉事務所に手話通訳者を配置し、県事業における手話通訳や県内の手話通訳者のコーディネート等を実施 各障がい福祉圏域に手話通訳事務員を配置：10人	
2	視覚障がい者総合支援事業	委託	視覚障がい者の社会活動への参加を支援するため、身体障がい者補助犬の給付、点字・声の広報等発行、生活訓練事業等を実施 【委託先：（社福）長野県視覚障害者福祉協会 他】 ・点訳・音訳による県報等の発行(1,136回)、新聞等の即時点訳の実施 ・補助犬の給付：2頭	
3	聴覚障がい者総合支援事業	委託	聴覚障がい者の社会活動への参加を支援するため、手話通訳者・要約筆記者の養成・派遣、字幕入りビデオライブラリーの作成等を実施 【委託先：（社福）長野県聴覚障害者福祉協会 他】 手話通訳者養成講座開催数：46回 要約筆記者の養成講座開催数：22回	
4	盲ろう者支援事業	委託	重度盲ろう者に対するコミュニケーション及び移動等の支援を行う通訳・介助員の派遣及び通訳・介助員養成研修会の開催 【委託先：（社福）長野県視覚障害者福祉協会】 ・盲ろう者通訳・介助員養成研修会開催数：基礎課程8回・応用課程4回 ・盲ろう者通訳・介助員派遣事業利用回数：200件	
5	失語症者の意思疎通支援	委託	失語症者のコミュニケーションを支援する意思疎通支援者の養成及び意思疎通支援者の派遣 【委託先：（一社）長野県言語聴覚士会】 失語症者向け意思疎通支援者の養成人数：5人、意思疎通支援者の派遣：2人	
6	情報保障・コミュニケーション支援研究会事業	直接	障がいのため、情報の取得や利用、または意思疎通に困難が生じている者に対する支援のあり方等を検討する研究会を運営 研究会の開催数：1回	
7	市町村地域生活支援事業補助金	補助金	市町村が実施する地域生活支援事業に対して補助 補助対象：76市町村	
8	重度障害者に係る市町村特別支援事業補助	補助金	障害者自立支援給付費国庫負担基準額を超過している市町村のうち、重度障がい者の割合が一定以上の市町村が負担する費用の一部を補助 実績なし（年度途中の利用者の死亡により、重度障がい者の割合が要件を満たさなかったため）	

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
3	障がい者就労支援事業		108,905 千円	110,091 千円	152,726 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	福祉就労強化事業	委託	工賃アップの取組を支援するため、地域と障がい者就労施設の連携を深める地域連携促進コーディネーターを配置。民間の専門技能を有する人材を事業所に派遣。経営改善の手法等を学ぶセミナーの開催 【委託先：（特非）長野県セルフセンター協議会】 地域連携促進コーディネーター4名配置		
2	福祉連携とOJTによる障がい者の就労促進事業	委託 補助金	障がい者の一般就労を促進するため、障害福祉サービス事業所の就労アセスメント能力の向上を図るとともに障がい者の短期職場実習に係る経費を助成 【委託先：（一社）しょう】 就労アセスメント能力向上セミナー開催数：4回、補助金支給対象：384人		
3	障がい者ITサポートセンター運営事業	委託	障がい者の日常生活の利便性向上とITを活用した就労の促進のため、IT関連サービスのサポート拠点を設置し、テレワーク普及促進のセミナー等を実施 【委託先：（特非）SOHO未来塾】 テレワークセミナー1回、タブレット端末の利用講習会3回、訪問講習2回開催		
4	ステップアップオフィス事業	直接	知的・精神障がい者をチャレンジ雇用職員として雇用し、サポーターの個別支援により、職場定着と一般就労へのステップアップを支援 チャレンジ雇用職員を21名（知事部局）、障がい者活躍サポーターを11名雇用（更新職員を含む）		
5	人口減少下における農福連携促進事業	委託	・農業分野の担い手不足・人手不足の解消と障がい者の働く場の拡大、工賃向上を図るため、農福連携促進コーディネーター、農福連携技術指導員を配置し、農家と事業所とのマッチング支援や農業に関する技術的支援を実施 【委託先：（特非）長野県セルフセンター協議会】 ・農福連携の更なる普及拡大を図るため、農福連携全国都道府県ネットワーク会長県として多様な媒体による広報宣伝、ノワクマルシェの開催及び社会的な意義を伝えるシンポジウム等を実施 ・農福連携促進コーディネーター4名配置、農福連携技術指導員2名配置 ・マルシェの開催箇所：6か所		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
4	障がい者福祉センター運営事業		415,542 千円	292,794 千円	300,597 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	障がい者福祉センターの運営	指定管理 直接	・障がい者福祉センターの管理運営（スポーツ・文化活動）を実施 ・施設の修繕及び保守管理を実施 【指定管理者：（社福）長野県社会福祉事業団】 年間開館日数：287日、利用者数：124,426人		
2	障がい者のスポーツ振興	指定管理	体育館・プール・陸上競技場等の運動施設を活用しながら様々なスポーツ教室等を実施するとともに、4つのサンスポート（駒ヶ根、まつもと、佐久、ながの）を拠点に地域への出張教室等を実施 スポーツ大会開催数：8回、定期教室開催数：37回		
3	障がい者の文化芸術振興	指定管理	障がい者の文化芸術活動の体験・発表やそれらを通じた交流を目的として、障がい者文化芸術祭、舞台発表、体験教室等の文化事業を実施 障がい者文化芸術祭：1回、県内巡回による芸術作品展：4回		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
5	聴覚障がい者情報センター運営事業		27,658 千円	27,738 千円	28,777 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	聴覚障がい者情報センターの運営	指定管理	聴覚障がい者情報センターの管理運営（字幕付きDVD等の制作・貸出、福祉関係図書の貸出、生活相談及び情報発信）を実施 【指定管理者：（社福）長野県聴覚障害者協会】 ・図書、DVD・ビデオの貸出件数：942冊、生活相談員1名配置 ・ビデオライブラリー利用者数：3,218人		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
6	その他社会参加推進事業		694 千円	794 千円	848 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	情報保障・コミュニケーション支援事業	直接	パソコンやスマホ等を使って内容をリアルタイムに文字化できる音声文字変換システム（UDトーク）を県庁受付及び障がい者支援課に導入することにより、障がい者等のコミュニケーションを支援 UDトーク配置箇所：2か所（県庁受付、障がい者支援課）		
2	障がい者ふれあい支援事業補助金	補助金	障がい者間の交流や社会参加の促進を図るため、外出や交流が少なくなりがちな障がい者にふれあいの場を提供する事業に対して補助金を交付 補助対象：1件		